



安全保障と現代 1

アメリカ統治下の沖縄にタイムスリップ

→ 学習課題

-戦後の沖縄の人々の生活と想いを想像しよう。

私のイメージ

→ 歴史に迫るスナップショット



▲沖縄返還協定の調印式

▲日本政府総理府と琉球列島米国民政府が発行する証明書



この前、家族旅行で沖縄に行ってきたよ。海がきれいだし、料理もとてもおいしかった。



沖縄は昔、本土から旅行しようとする時、パスポートみたいな証明書が必要だったらしいよ。アメリカの領土だったんだね。



今でも沖縄にはアメリカ軍の基地がたくさんあるね。でも、どうして沖縄には基地が集まっているのかな。



沖縄では、第二次世界大戦で地上戦が行われ、多くの方が亡くなったと聞いたよ。この問題は歴史的な背景をみていく必要があるそうだね。



沖縄のことは、沖縄だけ見ても分からないかも。世界的な広がりで見えていくことも大事よ。



皆さんのなかには修学旅行で沖縄を訪ねた人もいますよ。その時の印象的な光景やお話を思い出してみよう。

- 1945/8 終戦。沖縄戦の日本側死者は、住民9万4000人を含め18万8000人にのぼった
- 1950/12 米国政府に代わる出先機関として、琉球列島米国民政府を設置
- 1952/4 琉球政府設置。サンフランシスコ平和条約が発効し、法的には日本と分断される
- 1960/4 沖縄県祖国復帰協議会設立
- 1972/5 本土復帰。沖縄県へ
- 1974/1 日米安保協議委員会で、移設条件付きながら米軍基地の約10%返還で合意
- 1978/7 自動車が左側通行に
- 1990/6 米軍基地約1,000ヘクタールの返還で日米が合意。慰霊の日式典に現職で初めて海部首相が出席

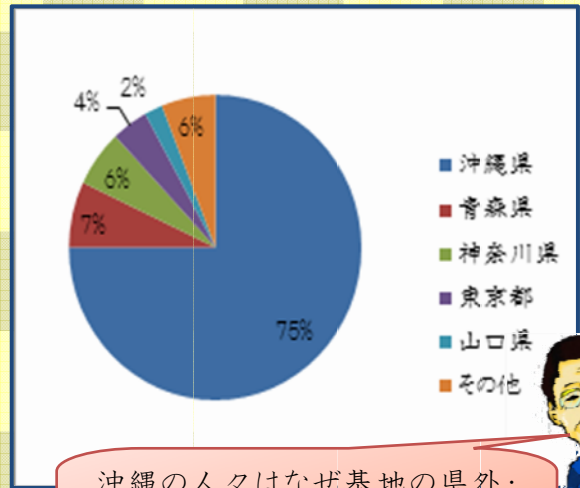
▲戦後の沖縄の歩み(年/月)



▼日本の主な米軍基地



▼都道府県別の米軍基地面積比



沖縄の人々はなぜ基地の県外・国外移転を求めているのでしょうか。理由を調べて、発表しよう。



▲沖縄の県民大会を報じる新聞(2010年)



▲沖縄サミットに集まった各国の代表者

「サミット」ってどんな行事か知っていますか。背景の建物はどこでしょうか。どうして政府は「沖縄」でサミットを開いたのでしょうか。



▲沖縄戦のあとの那覇



▲1970年の沖縄



▲現在の那覇市街



3つの写真を見比べると、沖縄の歴史がわかるね。





安全保障と現代2

戦後の紛争と平和について知ろう

→ 学習課題

- 日本の戦後の外交は、世界の出来事とどのように関係しているのだろうか？

私の予想

→ 時代の見取り図

時代	世紀
江戸	19
明治	
大正	
昭和	20
平成	21

- ・1945 第二次世界大戦終結
- ・1950 朝鮮戦争勃発
- ・1951 サンフランシスコ平和条約締結
- ・1960 新安保条約締結
- ・1962 キューバ危機
- ・1965 アメリカ、北ベトナム北爆
- ・1972 沖縄本土復帰
- ・1975 ベトナム戦争終結
- ・1979 ソ連がアフガニスタンに侵攻
- ・1989 マルタ会談

▲ 世界の紛争と平和に関する出来事

A 第二次世界大戦後の日本



▲ サンフランシスコ平和条約に調印する吉田茂首相

第二次世界大戦が終わると、敗戦国となった日本はアメリカを中心とする連合軍の占領下に入りました。沖縄や小笠原諸島などは、アメリカによって統治されました。

1951年に締結されたサンフランシスコ平和条約で、日本は主権を回復します。条約の締結にあたっては、アメリカを中心とする西側諸国との友好を優先するか、ソ連を中心とする東側諸国を含めた関係づくりを進めるかをめぐって、世論は対立しました。政府は前者を選択しました。

日本は平和条約と同時に日米安全保障条約を結び、米軍の日本駐留を認めました。1960年には、国際状況を踏まえて、あらためて日米安全保障条約を結びます。新条約では、アメリカとの関係がより強化されました。

B 第二次世界大戦後に起きた二つの戦争



▲ピューリッツァー賞を受章したベトナム戦争の報道写真

戦後、朝鮮半島には、アメリカとソ連の影響を受けた政府が成立しました。1950年に朝鮮戦争が始まると、アメリカ中心の国連軍は韓国を、ソ連・中国は北朝鮮を支援しました。1953年に休戦協定が結ばれ、現在に至ります。

ベトナムも朝鮮半島と同じような分断の歴史を歩みました。1965年、南ベトナムを支援するアメリカは、北ベトナムを空爆して軍事介入を始めました。しかし戦争の長期化、反戦運動などの結果、米軍はベトナムから撤退します。1975年に南ベトナムのサイゴンが北ベトナムに占領され、戦争は終結しました。

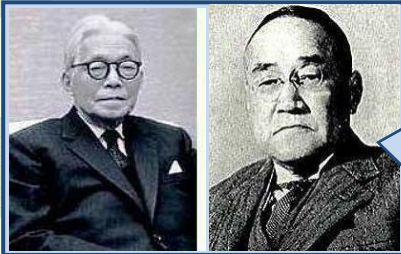


- (1) 日本国内に米軍の駐留を認める。
- (2) アメリカ政府以外に軍事的権利をあたえない。
- (3) 米軍の配備については日米行政協定で決める。
→①基地を提供する, ②日本は防衛分担金を払う, ③米軍関係者の犯罪は米国に裁判権がある。
- (4) 日本に内乱がおきたら米軍が出動する。
- (5) 日本は防衛力を強化する義務がある。
- (6) 米軍は日本を安全保障する義務はない。

▲旧日米安全保障条約(1951年)のポイント

- (1) 日本の防衛力を維持, 発展。
- (2) 日本にいる米軍の重要な装置や配置の変更, 直接戦闘のための基地使用は, 事前に協議する。
- (3) 米軍は日本を防衛する義務がある。
- (4) 米軍は日本に駐留して基地を使用できる。
- (5) 条約の有効期限は 10 年。

▲新日米安全保障条約(1960年)のポイント



南原総長らが主張する全面講和は曲学阿世の徒の空論で, 永世中立は意味がない

▲南原東大総長と吉田茂首相



▲サンフランシスコ平和条約調印を報じる新聞

新聞の1つ1つの見出しに蛍光ペンを引きましょう。その出来事にはどんな意味があるか, 話し合ひましょう。



▲新安保条約反対のデモをする人々

I 用語の意味を調べよう

1. 次の用語の意味を調べよう。
サンフランシスコ平和条約, 日米安全保障条約, 全面講和, 単独講和, 朝鮮戦争, ベトナム戦争

II 事実を比較・分類しよう

2. 上の資料や本文を参考に, 以下の表を完成させよう。
また3つの表から分かることを, 関連づけて説明しよう

平和条約をめぐる議論	意味	条約を結ぶ相手国
全面講和		
単独講和		

	共通している点	異なる点
旧日米安全保障条約		
新日米安全保障条約		

	戦争の期間	南北の国名と指導者	当事国を支援した大国
朝鮮戦争			
ベトナム戦争			

3つの表から, 日本を取りまく当時の国際関係がみえてくるね。



III 事実の理由を説明しよう

3. なぜアメリカやソ連・中国は, 朝鮮戦争やベトナム戦争に介入したのだろう。





安全保障と現代3

紛争と平和から現代の特色を捉えよう

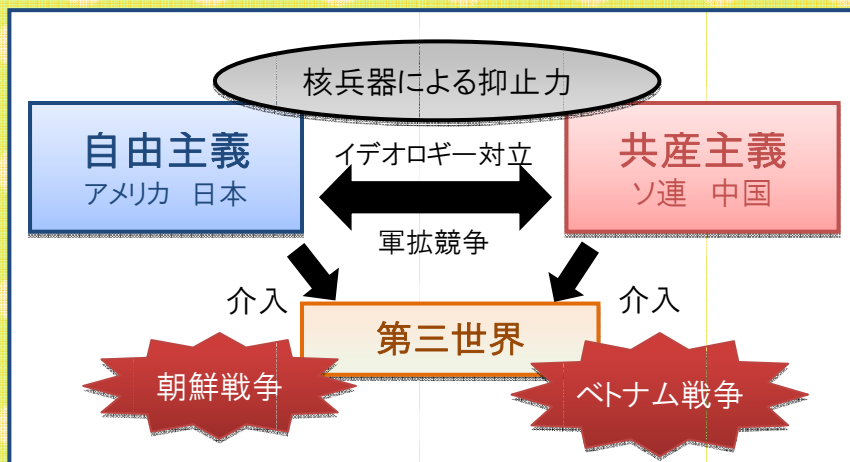
→ 学習課題

- 日本は戦後どのような外交政策をとったのだろうか。
- なぜそういう選択をしたのだろうか。

私の結論

--	--

→ 時代を捉えるモデル



▲戦後の冷戦対立構造のモデル

A イデオロギーの対立



▲ベルリンの壁

アメリカとソ連は、第二次世界大戦中は、日独伊などの枢軸国に対抗するため、同じ連合国の一員として戦いました。しかし大戦が終わりに近づくと、社会のあり方に関する考え方の対立があらためて浮上してきました。

戦後、アメリカとソ連は、経済援助や軍事同盟を通して、自分たちの仲間(友好国)を増やそうとしました。その結果、世界はアメリカを中心とする自由主義陣営と、ソ連を中心とする共産主義陣営に二分されていきました。両陣営の対立は冷戦とよばれ、戦後の国際関係の枠組みとなりました。

両国は、この枠組みのもと、勢力を維持、拡大しようとして各地の紛争に介入しました。その結果、地域紛争が、二大国の代理戦争に発展することもありました。

アメリカとソ連は、冷戦のなかで少しでも優位に立つために核兵器を開発するなどの軍拡競争を行いました。しかし、1962年のキューバ危機をきっかけに、話し合いによる軍縮、緊張緩和が進みました。

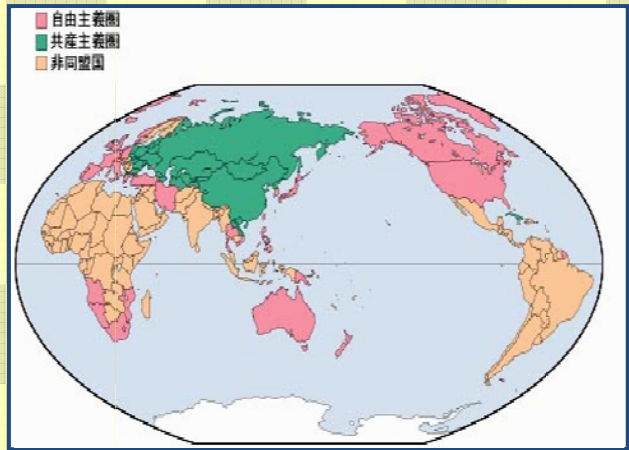
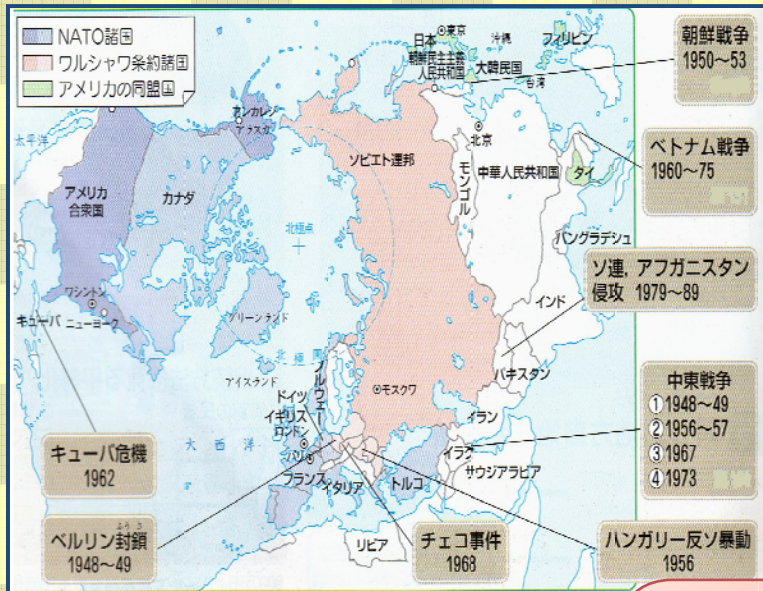
1980年代に入ると、両国の経済が悪化したり、ソ連内部で民主化が加速して、国際関係の立て直しが進みました。1989年のマルタ会談で冷戦の終結が宣言されます。その後、米ソの影響力は弱まり、各地で(まとまっていた)国家が解体・分裂したり、逆に(分かれていた)国家が統合していく動きも見られました。

B 国家対立から国家の解体・統合へ



▲マルタ会談
(左:ゴルバチョフ書記長, 右:レーガン大統領)





▲1960年代の両陣営の分布

▲1980年代までの世界の紛争



コソボ紛争，ユーゴスラビアの解体，東西ドイツの統合などは、いつ、どうして起きたのだろう？



どのようなところで紛争が起きているか、共通点を探してみましょう。



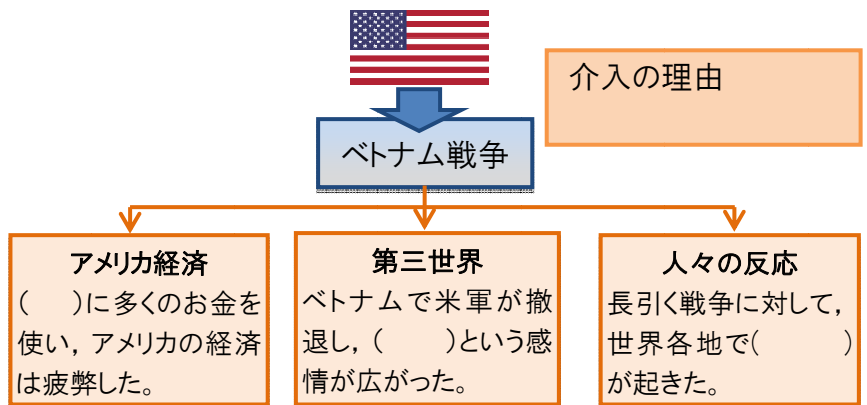
▲ベトナム戦争に反対する人々(1967年・アメリカ)

I 用語の意味を調べよう

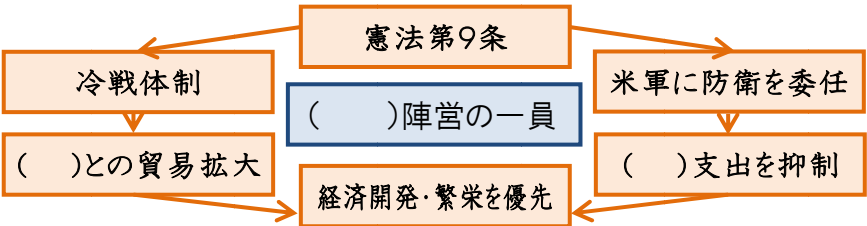
- 次の用語の意味を調べよう。
冷戦，自由主義陣営，共産主義陣営，キューバ危機，デタント，アフガニスタン侵攻，マルタ会談
- ベトナム戦争は，冷戦期の世界にどのような影響を与えただろう。下の図を完成させて，説明しよう。

II 事実の関係を組み立てよう

	朝鮮戦争	ベトナム戦争
期間	3年1か月	17年2か月
従軍者(人)	5,720,000	8,744,000
戦費(米ドル)	540億	6,760億
犠牲者(人)	死亡者 36,407 負傷者 103,284	死亡者 58,159 負傷者 304,000



III 当時の時代像を描き出そう



- 日本に米軍基地が存在する理由を改めて考えよう。